



信じる力



バスケットボール男子ワールドカップ順位決定リーグの日本 vs カーボベルデ戦。第4Q、5点差に追い上げられ、残り3分38秒でタイムアウトを取った日本代表監督のホーバスさんは、選手に「自信もって打って!」「自信もってトライ!」と声をかけていました。

試合後の会見でも「選手を信じていた」と話していました。今、開催されているラグビーワールドカップ2023においても「自分を信じて、仲間を信じてプレーした」という言葉が多く聞かれます。

みなさんは「ラグビー憲章」を知っていますか?ラグビーに関わる全ての人たちが大切にしてきた行動をまとめたものです。「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」この5つがそうです。

① 品位 (INTEGRITY)

品位とはラグビーをつくるものの中心であり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

② 情熱 (PASSION)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する熱い情熱を持っている。ラグビーは、感動を与え、思い入れをもたらし、世界のラグビーファミリーへの帰属意識を生む。

③ 結束 (SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な垣根を超えた忠誠心へとつながる一体的な精神をもたらす。

④ 規律 (DISCIPLINE)

規律とはフィールドの内外においてゲームに不可欠なものであり、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューを順守することによって表現される。

⑤ 尊重 (RESPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。

4年前「初のベスト8進出」で日本中が感動しました。8年前にも南アフリカとの対戦での勝利は、「ブライトンの奇跡」と呼ばれワールドカップ最高の瞬間と賞賛されました。

なぜこれほどまでに観る人の心を熱くし、感動を与えるのでしょうか?私は、この「ラグビー憲章」を知ったときになるほどと自分で納得しました。試合開始前の入場では、品位を感じます。ルールを守るなかには規律を感じます。試合中のスクラムやラインアウトには結束を感じます。身を挺したタックルや一歩でも前に進もうとする姿にはラグビーへの情熱を感じます。試合後の握手やハグには相手への尊重を感じるのです。「ラグビー憲章」や「信じる力」は、詫間中学校での生活にも当てはめることができるのではないのでしょうか。一人ひとりが考えてみてください。ラグビーワールドカップは、まだまだ続きます。日本代表の試合から学んだ教職員や生徒たちの成長を信じています。